

鹿児島労働基準監督署発表
令和7年3月7日（金）

報道関係者 各位

令和7年3月7日

【照会先】

鹿児島労働局労働基準部監督課

監督課長 鈴木 正臣

主任監察官 秋山 芳徳

099-223-8277

年末年始建設業一斉集中立入調査結果を公表します

鹿児島労働局（局長 ながのかずのり 永野和則）は、令和6年12月1日から令和7年1月31日までに管内5つの労働基準監督署において建設現場に対する一斉集中立入調査を実施し、その結果を下記のとおりとりまとめたので公表します。

【趣旨】

年末年始は、慌ただしい時期であり、作業内容や生活リズムが変わる傾向にあることから、建設業の労働災害が発生しやすい時期となっています。

このような状況を踏まえ、鹿児島労働局では、年末年始におけるさらなる労働災害の撲滅を目指し、「年末年始建設業一斉集中立入調査」を実施しました。

【実施結果概要】

1 監督実施状況（別添1「監督実施状況」参照）

管内5つの労働基準監督署において、期間中に施工していた90現場（土木工事50、建築工事37、その他3）の250事業場（元請と下請の合計）に対して実施した結果、50（55.6%）の現場において、労働安全衛生法違反が認められました。

2 主な違反の内容（件数は元請と関係請負人に対する違反件数の合計）

☆「墜落・転落防止」に関する違反 . . . 53件

作業床の端・開口部等からの墜落防止、足場に関する措置等

☆「元請けの統括安全衛生管理」に関する違反 . . . 15件

関係請負人に対する指導等

☆「建設機械等」に関する違反 . . . 13件

資格、作業方法、点検等

3 使用停止等事例

- ☆ 土木工事現場において、法面の小段に乗り込む通路に手すりを設けずに作業を行わせていたもの
- ☆ 建築工事現場において、足場に手すり、中棧等を設けずに作業を行わせていたもの
- ☆ 建築工事現場において、改修作業を行う建物の屋上の端に手すり等墜落防止措置を設けずに作業を行わせていたもの

4 今後の方針（別添2「令和6年災害発生状況（令和7年2月6日集計）」参照）

令和6年に建設業で発生した休業4日以上之死傷者数は314人（令和7年2月6日現在集計、コロナリ患者除く、内訳は土木工事業で112人、建築工事業で151人、その他の建設業で51人）で、事故の型別では墜落・転落（120人、38.2%）が最も多く、次いで、はさまれ・巻き込まれ（34人、10.8%）、転倒（31人、9.9%）、飛来・落下（30人、9.6%）、切れ・こすれ（29人、9.2%）によるものが発生しています。死亡者数は6人で、そのうち、土木工事業ではドラグ・ショベルごと雨水をためる深さ約4メートルの穴に転落、建築工事業では車庫の新築工事現場で高さ3.4メートルの屋根鉄骨部分から墜落・転落による死亡災害が発生しています。

また、被災者を年齢別にみると、60歳以上が116人36.9%、50歳台が52人16.6%で、50歳以上の高齢者が5割強（53.5%）を占めていますので、墜落・転落災害の防止対策をはじめ、高齢者の災害防止対策の徹底をお願いします。

【添付資料】

別添1 監督実施状況

- 令和5年度・令和6年度

別添2 災害発生状況（令和7年2月6日集計）

- 業種別死傷災害発生状況
- 業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況
- 令和6年死亡災害事例（令和6年12月末日現在）

監督実施状況

年度	工事の種類	監督現場数 (下請事業場数)	違反現場数			違反率
			重大な違反現場数	使用停止等現場数		
令和5年度	土木	43 (19)	17	0	5	39.5%
	建築	58 (189)	23	1	9	39.7%
	その他の建設業	7 (7)	2	0	1	28.6%
	合計	108 (215)	42	1	15	38.9%
令和6年度	土木	50 (31)	23	0	4	46.0%
	建築	37 (126)	24	0	8	64.9%
	その他の建設業	3 (3)	3	0	1	100.0%
	合計	90 (160)	50	0	13	55.6%

業種別死傷災害発生状況

(令和7年2月6日現在集計)

別添2

鹿児島労働局

業種別死傷災害発生状況									
業種	年	令和6年		令和5年		対前年			
						増減数		増減率	
		死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数	死傷者数	死亡者数
全産業		2,099	18	2,154	14	-55	4	-2.6%	28.6%
1 製造業		385	6	423	4	-38	2	-9.0%	50.0%
1 食料品製造業		245	4	240	3	5	1	2.1%	33.3%
4 木材・木製品製造業		23	1	22		1	1	4.5%	
9 窯業土石製品製造業		16	1	22		-6	1	-27.3%	
11～12 金属製品製造業		28		30		-2		-6.7%	
13～15 機械機具製造業		36		43		-7		-16.3%	
上記以外の製造業		37		66	1	-29	-1	-43.9%	-100.0%
2 鉱業		3		8		-5		-62.5%	
3 建設業		314	6	294	3	20	3	6.8%	100.0%
1 土木工事業		112	5	102	1	10	4	9.8%	400.0%
2 建築工事業		151	1	137	1	14		10.2%	
3 その他の建設業		51		55	1	-4	-1	-7.3%	-100.0%
4 運輸交通業		197	1	207	1	-10		-4.8%	
1 鉄道・航空機業		2		5		-3		-60.0%	
2 道路旅客運送業		16		17		-1		-5.9%	
3 道路貨物運送業		179	1	185	1	-6		-3.2%	
4 その他の運輸交通業									
5 貨物取扱業		25	1	22		3	1	13.6%	
1 陸上貨物取扱業		10		11		-1		-9.1%	
2 港湾運送業		15	1	11		4	1	36.4%	
6 農林業		102	2	104	1	-2	1	-1.9%	100.0%
1 農業		53	1	62		-9	1	-14.5%	
2 林業		49	1	42	1	7		16.7%	
7 畜産・水産業		118		106		12		11.3%	
8 商業		266		278	2	-12	-2	-4.3%	-100.0%
1 卸売業		49		37		12		32.4%	
2 小売業		196		214	2	-18	-2	-8.4%	-100.0%
3 理美容業		1		2		-1		-50.0%	
4 その他の商業		20		25		-5		-20.0%	
9 金融・広告業		16		23		-7		-30.4%	
11 通信業		20		26		-6		-23.1%	
12 教育・研究業		14		27		-13		-48.1%	
13 保健衛生業		350	1	365		-15	1	-4.1%	
1 医療保健業		137	1	143		-6	1	-4.2%	
2 社会福祉施設		205		210		-5		-2.4%	
3 その他の保健衛生業		8		12		-4		-33.3%	
14 接客娯楽業		111		105	1	6	-1	5.7%	-100.0%
1 旅館業		31		24	1	7	-1	29.2%	-100.0%
2 飲食店		59		62		-3		-4.8%	
3 その他の接客娯楽業		21		19		2		10.5%	
上記以外の事業		178	1	166	2	12	-1	7.2%	-50.0%
10 映画・演劇業				1		-1		-100.0%	
15 清掃・と畜業		97		90		7		7.8%	
16 官公署				0					
17 その他の事業		81	1	75	2	6	-1	8.0%	-50.0%
陸上貨物運送事業(4-3-5-1)		189	1	196	1	-7		-3.6%	
第三次産業(8~17)		955	2	990	5	-35	-3	-3.5%	-60.0%

- 死傷者数は、当月末までに発生した労働災害の被災者を翌月8日締めで集計したもの。
- 死傷者数は、労働者死傷病報告のうち休業見込み日数が4日以上災害によるもので、死亡者を含みます。
- 死亡者数は、各労働基準監督署の調査等により把握したもので、労働者死傷病報告が未提出の場合もあります。
- 下段の陸上貨物運送事業(4-3-5-1)及び第三次産業(8~17)は、別計。
- 死傷者数、死亡者数ともに新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

*本年1月末については、HPをご覧ください。

鹿児島労働局 災害

検索

業種別 事故の型別・年齢別死傷災害発生状況

(令和7年2月6日現在集計)

鹿児島労働局

事故の型別									年齢別					
業種	順位	令和6年	人数	割合	順位	令和5年	人数	割合	令和6年		令和5年		増減数 人数	
									人数	割合	人数	割合		
全産業	1	転倒	527	25.1%	1	転倒	538	25.0%	～19歳	38	1.8%	41	1.9%	-3
	2	墜落・転落	403	19.2%	2	墜落・転落	400	18.6%	20歳～29歳	219	10.4%	244	11.3%	-25
	3	動作の反動・無理な動作	330	15.7%	3	動作の反動・無理な動作	341	15.8%	30歳～39歳	271	12.9%	254	11.8%	17
	4	はさまれ・巻き込まれ	225	10.7%	4	はさまれ・巻き込まれ	194	9.0%	40歳～49歳	376	17.9%	394	18.3%	-18
	5	切れ・こすれ	135	6.4%	5	切れ・こすれ	139	6.5%	50歳～59歳	460	21.9%	527	24.5%	-67
									60歳～	735	35.0%	694	32.2%	41
製造業	1	転倒	101	26.2%	1	転倒	118	27.9%	～19歳	6	1.6%	8	1.9%	-2
	2	はさまれ・巻き込まれ	76	19.7%	2	はさまれ・巻き込まれ	69	16.3%	20歳～29歳	36	9.4%	59	13.9%	-23
	3	墜落・転落	61	15.8%	3	墜落・転落	53	12.5%	30歳～39歳	61	15.8%	62	14.7%	-1
	4	動作の反動・無理な動作	48	12.5%	4	動作の反動・無理な動作	49	11.6%	40歳～49歳	64	16.6%	80	18.9%	-16
	5	切れ・こすれ	39	10.1%	5	切れ・こすれ	42	9.9%	50歳～59歳	78	20.3%	103	24.3%	-25
									60歳～	140	36.4%	111	26.2%	29
建設業	1	墜落・転落	120	38.2%	1	墜落・転落	116	39.5%	～19歳	9	2.9%	5	1.7%	4
	2	はさまれ・巻き込まれ	34	10.8%	2	切れ・こすれ	26	8.8%	20歳～29歳	48	15.3%	48	16.3%	
	3	転倒	31	9.9%	3	激突され	26	8.8%	30歳～39歳	40	12.7%	42	14.3%	-2
	4	飛来・落下	30	9.6%	4	転倒	23	7.8%	40歳～49歳	49	15.6%	48	16.3%	1
	5	切れ・こすれ	29	9.2%	5	はさまれ・巻き込まれ	23	7.8%	50歳～59歳	52	16.6%	56	19.0%	-4
									60歳～	116	36.9%	95	32.3%	21
陸上貨物 運送事業	1	墜落・転落	57	30.2%	1	墜落・転落	57	29.1%	～19歳	5	2.6%	5	2.6%	
	2	動作の反動・無理な動作	35	18.5%	2	転倒	30	15.3%	20歳～29歳	12	6.3%	11	5.6%	1
	3	転倒	28	14.8%	3	動作の反動・無理な動作	30	15.3%	30歳～39歳	22	11.6%	31	15.8%	-9
	4	はさまれ・巻き込まれ	21	11.1%	4	はさまれ・巻き込まれ	23	11.7%	40歳～49歳	54	28.6%	54	27.6%	
	5	激突され	14	7.4%	5	激突	14	7.1%	50歳～59歳	54	28.6%	61	31.1%	-7
									60歳～	42	22.2%	34	17.3%	8
林業	1	切れ・こすれ	12	24.5%	1	切れ・こすれ	18	42.9%	～19歳			1	2.4%	-1
	2	激突され	11	22.4%	2	飛来・落下	6	14.3%	20歳～29歳	8	16.3%	7	16.7%	1
	3	墜落・転落	5	10.2%	3	激突され	5	11.9%	30歳～39歳	8	16.3%	4	9.5%	4
	4	転倒	5	10.2%	4	墜落・転落	4	9.5%	40歳～49歳	14	28.6%	6	14.3%	8
	5	飛来・落下	5	10.2%	5	転倒	4	9.5%	50歳～59歳	11	22.4%	8	19.0%	3
									60歳～	8	16.3%	16	38.1%	-8
第三次 産業	1	転倒	331	34.7%	1	転倒	326	32.9%	～19歳	16	1.7%	18	1.8%	-2
	2	動作の反動・無理な動作	207	21.7%	2	動作の反動・無理な動作	217	21.9%	20歳～29歳	83	8.7%	89	9.0%	-6
	3	墜落・転落	122	12.8%	3	墜落・転落	141	14.2%	30歳～39歳	116	12.1%	83	8.4%	33
	4	交通事故（道路）	60	6.3%	4	交通事故（道路）	79	8.0%	40歳～49歳	155	16.2%	175	17.7%	-20
	5	はさまれ・巻き込まれ	48	5.0%	5	激突	42	4.2%	50歳～59歳	215	22.5%	251	25.4%	-36
									60歳～	370	38.7%	374	37.8%	-4
小売業	1	転倒	81	41.3%	1	転倒	75	35.0%	～19歳	7	3.6%	5	2.3%	2
	2	動作の反動・無理な動作	29	14.8%	2	墜落・転落	34	15.9%	20歳～29歳	17	8.7%	19	8.9%	-2
	3	墜落・転落	24	12.2%	3	動作の反動・無理な動作	31	14.5%	30歳～39歳	21	10.7%	18	8.4%	3
	4	交通事故（道路）	16	8.2%	4	交通事故（道路）	27	12.6%	40歳～49歳	28	14.3%	34	15.9%	-6
	5	激突	11	5.6%	5	激突	12	5.6%	50歳～59歳	39	19.9%	45	21.0%	-6
									60歳～	84	42.9%	93	43.5%	-9
社会福 祉施設	1	転倒	78	38.0%	1	動作の反動・無理な動作	77	36.7%	～19歳			1	0.5%	-1
	2	動作の反動・無理な動作	71	34.6%	2	転倒	75	35.7%	20歳～29歳	11	5.4%	17	8.1%	-6
	3	墜落・転落	14	6.8%	3	墜落・転落	13	6.2%	30歳～39歳	26	12.7%	13	6.2%	13
	4	激突	8	3.9%	4	激突	11	5.2%	40歳～49歳	39	19.0%	35	16.7%	4
	5	はさまれ・巻き込まれ	8	3.9%	5	交通事故（道路）	8	3.8%	50歳～59歳	47	22.9%	59	28.1%	-12
									60歳～	82	40.0%	85	40.5%	-3
飲食店	1	転倒	24	40.7%	1	転倒	17	27.4%	～19歳	5	8.5%	7	11.3%	-2
	2	切れ・こすれ	9	15.3%	2	高温・低温の物との接触	12	19.4%	20歳～29歳	9	15.3%	9	14.5%	
	3	高温・低温の物との接触	8	13.6%	3	墜落・転落	11	17.7%	30歳～39歳	12	20.3%	3	4.8%	9
	4	動作の反動・無理な動作	6	10.2%	4	切れ・こすれ	9	14.5%	40歳～49歳	3	5.1%	10	16.1%	-7
	5	墜落・転落	4	6.8%	5	動作の反動・無理な動作	5	8.1%	50歳～59歳	12	20.3%	12	19.4%	
									60歳～	18	30.5%	21	33.9%	-3

※事故の型別について・・・上位5位までの型のみを表示しています。

※新型コロナウイルス感染症り患者を除く。

令和6年 死亡災害事例(令和6年12月末日現在)

鹿児島労働局

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
1	令和6年 1 月	食料品製造業	作業員	男	35	7年	はさまれ・巻き込まれ	コンベア	脱葉設備(サトウキビ原料についた葉や泥を落とすための設備)の排出コンベアのローラーについた泥をへらで掻き落とす作業を行っていた被災者が、ローラーとベルトの間に左腕と頭部を巻き込まれ、窒息により死亡したものの。
2	令和6年 2 月	特定貨物自動車運送業	作業員	男	63	2ヶ月	はさまれ・巻き込まれ	トラック	クレーン付きダンプトラックに積載されたサトウキビの荷下ろし作業中、トラック荷台に残ったサトウキビを下ろすため、被災者はトラック運転者に荷台を傾けるよう指示した後、荷台後方に回り込んだところ、車体側面まで開放された荷台後方扉が自重で閉まり、トラック後部と当該扉の間に挟まれ死亡したものの。
3	令和6年 2 月	建築工事業	鉄骨工	男	71	50年	墜落・転落	建築物・構築物	車庫の新築工事現場で、被災者は屋根部分(高さ3.4m)まで組み立てられた鉄骨の塗装作業を1人で行っていた。14時20分頃、工事発注者の代表者が現場を訪れたところ、建築中の車庫内のアスファルト地面に左顔面をつけ、出血して側臥位の姿勢で倒れていた被災者を発見し、病院へ搬送されたものの、約1時間後に死亡したものの。
4	令和6年 2 月	土木工事業	作業員	男	56	2年	激突され	トラック	事務所前に駐車した3tトラックと資材置場に駐車した2tトラックを入れ替えようと、被災者は3tトラックを運転して資材置場に駐車後、2tトラックに乗り替えて資材置場内を運転中、3tトラックが資材置場内のコンテナ方向に後退し始めたため、運転中のトラックを降りて3tトラックの進行方向に入って止めようとしたが止まらず、トラック後部とコンテナの間に身体を挟まれたものの。
5	令和6年 3 月	食料品製造業	運転者	男	65	18年	墜落・転落	建築物・構築物	事業場の資材置場にて、被災者と同僚労働者の2名でトラック(最大積載量1.35t)に荷物を積み込む作業を行っていたところ、被災者がトラックパースから墜落し、61cm下のアスファルト地面に頭部を打ち付けたものの。
6	令和6年 4 月	食料品製造業	作業員	女	70	17年	はさまれ・巻き込まれ	エレベータ、リフト	被災者は、工場の2階倉庫で梱包資材を荷物用リフトに載せて1階工場に下ろす作業を行っていたが、被災者が1階に戻ってこないことを不審に思った同僚が2階倉庫を確認したところ、当該リフトと2階床面との間に上半身が挟まれた状態の被災者を発見したものの。
7	令和6年 4 月	土木工事業	運転者	男	61	12年	飛来・落下	木材、竹材	造材されたスギ丸太をトラックで運搬するため、被災者及び1次下請労働者1名がそれぞれフォワーダ及びプロセッサを用いて積み込み作業を行っていたところ、積み込みしていたスギ丸太(重量約270kg、長さ3.82m)が被災者側に落ちて負傷したものの。
8	令和6年 4 月	農業	作業員	男	74	4年	はさまれ・巻き込まれ	その他の一般動力機械	被災者はビニールハウス内の土を一人で耕していたが、ビニールハウス内で、農業用トラクター(歩行型)とビニールハウスの骨組みに挟まれている被災者を近隣の作業員が発見したものの。
9	令和6年 5 月	木材伐出業	作業員	男	47	10年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	出社後、現場に向かうため軽ワゴン車を運転して県道を走行中、軽ワゴン車が横転して炎上し、車内の後部で被災した状態で発見されたものの。
10	令和6年 5 月	土木工事業	作業員	男	73	20年	転倒	掘削用機械	災害復旧工事現場にて、被災者がクレーン機能付きドラグショベル(バケット容量0.14m ³)を操作して木製の型枠を吊り上げた状態で運んでいたところ、傾斜約20度の下り斜面でドラグショベルが前方に転倒し、被災者の頭部がドラグショベルのヘッドガード支柱と地面に挟まれたものの。
11	令和6年 6 月	窯業土石製品製造業	運転者	男	66	40年	破裂	トラック	粉状のセメントを粉粒体運搬車で配送先に運搬後、配送先のサイロにセメントを供給するため、粉粒体運搬車のタンクに圧縮空気を入れているところ、当該タンクが破裂し、破裂によってタンク上部から外側に開いた胴板が、粉粒体運搬車の左側面で作業を行っていた被災者に激突したものの。
12	令和6年 7 月	その他の事業	技術者	男	41	16年	高温・低温の物との接触	高温・低温環境	廃棄物処理施設新設現場にて、被災者は午後2時頃から施設内で性能試験を行うためのサンプリング作業を開始し、午後4時40分からは不織布の保護衣、防じんマスクを着用して、約1時間かけてごみのサンプリング作業を終えたところ、体調が悪化し、ろれつが回らなくなったため救急車で病院へ搬送された。同日午後9時13分、搬送先の病院で熱中症により死亡した。

番号	発生年月	業種	被災時の職種	性別	年齢	経験年数	事故の型	起因物	災害の概況(速報による)
13	令和6年 9 月	土木工事業	作業員	男	60	20年	はさまれ・巻き込まれ	掘削用機械	橋台の基礎部分を建設するため、直径2.0mの円柱状の立坑を掘削する作業を行っていた。ドラグ・ショベル(バケツ容量0.01m ³)を坑内に下ろし、被災者は当該ドラグ・ショベルを運転して床掘等を一人で行っていたが、現場を確認しに来た元請現場員が、深さ約2.7mの立坑内でドラグ・ショベル運転席のバーと土留め用のライナープレート間に左腕、胸部を挟まれている被災者を発見したものの。
14	令和6年 10 月	港湾荷役業	作業員	女	79	8年	激突され	フォークリフト	漁港内において、水揚げされた魚の選別作業を行うため魚を仕分けする選別台に向かって歩いていた被災者が、漁港内を前進で走行してきたフォークリフト(最大荷重2.5t)に激突され、死亡したものの。
15	令和6年 10 月	土木工事業	作業員	男	43	24年	墜落・転落	掘削用機械	被災者がドラグ・ショベル(バケツ容量1.4m ³)を用いて掘削箇所の法面整形作業を行っていたところ、当該作業箇所のすぐ近くに設けられた釜場(雨水等を溜める穴で、大きさ約13m四方、深さ約4m)にドラグ・ショベルごと転落し、降雨等の影響で満水となっていた釜場内で溺死したものの。
16	令和6年 10 月	木材・木製品製造業	作業員	男	57	12年	墜落・転落	コンベア	製材所内にて、ローコンベアで木材(長さ3m、幅30cm、厚さ8cm、重量約50kg)を搬送中、コンベア幅が縮小する箇所ですぐ近くに2枚の木材が挟まったため、コンベアを停止後、被災者はローラー間に敷かれた木板上に移動して挟まった木材を1枚持ち上げて動かそうとした際、後ろ向きに倒れ、木材とともに木板上から1.8m下のコンクリート床面に墜落し、落下した木材が被災者の胸部に当たったものの。
17	令和6年 11 月	食料品製造業	作業員	男	41	8年	墜落・転落	整地・運搬・積み込み用機械	自社所有の田に植生していたカヤを運搬するため、被災者はトラクター・ショベル(機体重量2.125t)を運転して田に通じる畦道を走行中、畦道を約65m走行したところで、同ショベルが進行方向右側の路肩から50cm下の田に転落し、被災者が運転席から投げ出された。被災者は転落した同ショベルの支柱式ヘッドガードの下敷きとなり、胸部を圧迫され窒息したものの。
18	令和6年 12 月	医療保健業	運転者	男	72	2年	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク	施設利用者2名を送迎するため、被災者はワゴン車を運転して住宅地につながる市道を走行中、坂道を下ってT字路を曲がり県道に出ようとしたところ、ワゴン車が止まり切れず、道路脇の壁に正面から衝突したものの。 被災者及び後部座席に乗車した施設利用者1名が死亡し、助手席に乗車した施設利用者1名が負傷した。